

# 気候変動国際交渉における 環境NGOの国内外の連携強化



各党議員にパリ協定早期批准を求める

CAN-Japan関連の  
メディア掲載実績件数 **106件以上**

CAN-Japan関連情報・  
メンバーの国会・審議会・  
地方議会での登壇件数

**17件以上**

活動の全体目標に  
対する達成度 **80%**

## 課題

国内外の環境NGOが連携して提言や情報発信に取り組むことで、気候変動交渉の前進・温暖化対策の強化の気運を高めることのできる影響力を獲得する。

## 目標

COPなどの国際会議において、国際枠組みづくりの議論が進展する。日本で2015年合意及び気候変動対策に係る国内での議論が活性化する。気候変動問題に取り組む国内外の環境NGOのネットワークが強化される。

## 活動内容

国連気候変動枠組条約のもと開催されるCOPなどの国際会議への参加と国際交渉・気候変動対策の調査と政策提言に取り組んだ。また、東京を中心に、各地で気候変動交渉や国際合意、日本の気候変動対策に関するイベントを開催したり、ウェブサイトを開発・運用するなど、情報発信を行った。これらの活動を、気候変動問題に取り組む国内外のNGOと連携して行った。



COP22マラケシュ会議での  
合意

## 達成できなかったこと

CAN-Japanメンバー団体数は15団体にとどまった。知名度の低さや、気候変動の国際交渉は関与することが難しいプロセスであることが原因と考えられる。

## 今後の展望

パリ協定を日本国内で実施していくための提言や気運の盛り上げ、気候変動NGOのネットワーク強化が必要。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

パリ協定が採択され、早期発効し、日本政府が締結した。CAN-Japanメンバー団体が3年間で4団体増加した。CAN-Japan関連のメディア報道実績が少なくとも3年間の累計で240件を超えた。

### 工夫

質の高いタイムリーな情報発信によって、関心をもつ人々に「リピーター」になってもらった。